

新型コロナウイルス感染症対策に係る  
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル5 厳戒警報**とします。

## 【概要】

## 1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし 感染者数
7月20日(火)～7月26日(月)	157名	47名

## 2 熊本県リスクレベルについて

前回（7月26日発表）	今回（7月28日発表）
<b>レベル4 特別警報</b> なお、感染状況は増加傾向が見られる。	<b>レベル5 厳戒警報</b> なお、感染状況は増加傾向が見られる。

## 3 県民の皆様へのお願い

県内の週新規感染者数は150名を超えており、感染拡大傾向も継続していることから、リスクレベルを緊急的にレベル5 厳戒警報に引き上げます。

現在、感染拡大の中心は熊本市にあり、県外移動歴が確認されている事例が多く確認されています。また、東京都や沖縄県など、人の移動が盛んな自治体で感染が爆発的に増加していることを考えると、本県でも4連休中に感染した事例が顕在化してくると考えられ、更に多くの感染者が生じる可能性が非常に高い状況です。したがって、現時点から強い対策を行うことが必要な状況にあると考えられます。

第4波まで経験した感染状況や、国の分科会が疫学的に示したエビデンスなどから、熊本市においては、今後、有明保健所管内と同様、飲食店での感染が多数確認されると考えられます。そのため、今回、これまでよりも迅速に熊本市の酒類提供飲食店（熊本県感染防止対策認証店を除く）に対し時短要請を行い、早期の感染の抑え込みを図ります。

県民の皆様には、リスクレベルが最高のレベル5に至ったことを踏まえ、県からの要請を遵守していただくようお願いします。また、基本的な感染防止対策をより徹底していただき、特に普段一緒にいない人との交流は感染リスクを増すことを念頭に、十分注意していただくようお願いします。

**熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況**

【令和3年（2021年）7月28日】

**1 熊本県における現状認識**

全国的な感染拡大が本県に波及し、感染者数が急増している。こうした状況から、7月26日に対策本部会議を開催し、リスクレベルをレベル4 特別警報に引き上げたところである。

本県において、7月20日から26日までの新規感染者は157人（リンク不明感染者数は47人）となった。また、7月27日時点の病床使用率は13.4%であり、増加傾向が見られている。こうした状況から、リスクレベルをレベル4 特別警報に引き上げて間もない状況であるが、緊急的にレベル5 厳戒警報に引き上げる。

熊本市の感染の態様としては、県外移動歴が確認されている事例が多い。また、東京都や沖縄県など、人の移動が盛んな自治体で感染が爆発的に増加していることを考えると、本県でも4連休中に感染した事例が顕在化してくると考えられ、更に多くの感染者が生じる可能性が非常に高い。したがって、現時点から強い対策を行うことが必要な状況と考えられる。

第4波まで経験した感染状況や、国の分科会が疫学的に示したエビデンスなどから、熊本市においては、今後、有明保健所管内と同様、飲食店での感染が多数確認されると考えられる。そのため、今回、これまでよりも迅速に熊本市の酒類提供飲食店（熊本県感染防止対策認証店を除く）に対し時短要請を行い、早期の感染の抑え込みを図る。

県民の皆様には、リスクレベルが最高のレベル5に至ったことを踏まえ、県からの要請を遵守していただくようお願いする。また、基本的な感染防止対策をより徹底していただき、特に普段一緒にいない人との交流は感染リスクを増すことを念頭に、十分注意していただくようお願いする。

前回（7/26発表）	今回（7/28発表）
<b>レベル4 特別警報</b> なお、感染状況は増加傾向が見られる。	<b>レベル5 厳戒警報</b> なお、感染状況は増加傾向が見られる。

## 2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (7月27日現在)

- 熊本県においては、7月20日から26日までの新規感染者は157人（リンク不明感染者数は47人）である。病床使用率は7月27日時点で13.4%と、レベル5 厳戒警報の水準に至っていないが、感染は急増していることから、リスクレベルはレベル5 厳戒警報に引き上げることが妥当である。
- 現在、新規感染者は有明保健所管内及び熊本市に集中している。有明保健所管内においては、飲食店を中心としたクラスターで感染が急拡大しており、リスクレベル4 の対策として、飲食店への時短要請を行われているところ。熊本市においては、県外移動歴のある方や旅行者の陽性者が散見されており、若年層中心という特徴もある。こうした事例は感染の急拡大前に見られ、第4波でも同様の状況があった。
- これまで、第3波・第4波においては、こうした事例の感染が、繁華街の感染防止対策が不十分な飲食店で増幅され、さらに家庭内感染・職場内感染を経て国のステージ4 に至る感染拡大となった。また、医療への負荷も非常に大きくなり、熊本市においては通常医療を一部制限して病床を確保するなど、非常に厳しい状況に陥った。
- 熊本市においては、飲食店が高密度に存在し、これまでも繁華街で感染拡大を何度も経験している。中心市街地において人流が増加していることから、現状としては、強い対策を取らずに現在の感染拡大を抑え込むことは困難な状況に達していると考えられる。
- 現在、デルタ株の影響により、更に多数の感染者が短期間に生じる可能性がある。県民の生命及び健康を守るためには、現段階で、予防的な側面も含め、熊本市の飲食店に対し時短要請を行うことが必要と考える。なお、一定水準まで感染者が増加してから時短要請を行うよりも、その端緒をつかんだ現時点から行った方が、感染者数は大きく抑えられ、結果として時短を早く終えることができる。
- また、ワクチン接種を迅速に進め、さらに、感染防止対策認証店等による基本的感染防止対策が徹底された店を増やすことにより、繁華街での感染可能性を大きく減じることができると考えられる。
- コロナとの戦いに打ち勝つために、今回は、県市連携し、このタイミングで感染リスクが高いと考えられる飲食店への時短要請を行っていただきたい。

## 【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況				早期探知指標
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③検査陽性率		④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合	新規陽性者数の前週今週比  前週今週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
	入院医療		重症者用病床		県内全検査	行政検査等※2			
	確保病床使用率	入院率※1	確保病床使用率	週移動平均		週合計	直近一週間		
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	—	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	—	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階								
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階								
7月26日	11.6%	48.2%	0.0%	141人	4.2%	16.8%	157人	47人(29.9%)	4.49
7月21日	6.0%	72.9%	0.0%	48人	1.6%	9.4%	52人	18人(34.6%)	4.33
7月14日	3.6%	81.5%	1.8%	27人	0.4%	4.9%	12人	6人(50.0%)	1.33
7月7日	3.5%	65.6%	1.8%	32人	0.3%	2.8%	9人	5人(55.6%)	0.36
6月30日	8.1%	79.0%	8.9%	62人	0.6%	3.4%	25人	5人(20.0%)	0.69
6月23日	10.9%	77.1%	16.1%	83人	0.9%	5.6%	36人	13人(36.1%)	0.88
6月16日	15.4%	80.5%	16.1%	113人	1.0%	5.9%	41人	18人(43.9%)	0.58

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用  
 ※2 行政検査及び医療機関で陽性が確認された検査の陽性率(参考値)

## 【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者 <b>150</b> 名以上 かつ ②病床使用率 <b>25%</b> 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。</li> <li>大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。</li> <li>メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。</li> </ul>	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 <b>50</b> 名以上 かつ ②リンク無し感染者 <b>25</b> 名以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。</li> <li>メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。</li> </ul>	感染の更なる拡大と、クラスターの散発／連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 <b>30</b> 名以上 又は ②リンク無し感染者 <b>15</b> 名以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。</li> </ul>	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発</li> </ul>	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な対策を啓発</li> </ul>	

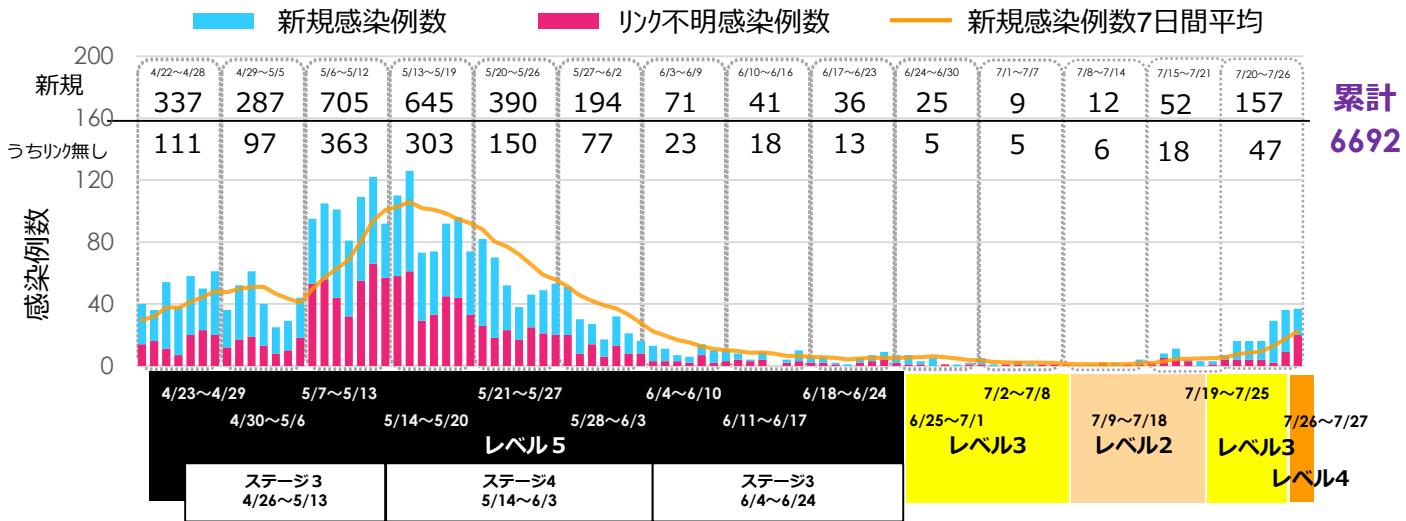
※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

## 【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（4/22～7/26）：確定日ベース】



・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意

## 【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	7/20～7/26		保健所名	これまで	7/20～7/26	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	3710	63	8.5	宇城保健所	251	9	8.7
有明保健所	620	67	43.0	八代保健所	314	1	0.7
山鹿保健所	216	3	6.0	水俣保健所	154	0	0.0
菊池保健所	569	11	5.9	人吉保健所	148	0	0.0
阿蘇保健所	131	0	0.0	天草保健所	76	0	0.0
御船保健所	346	3	3.7	計	6535	157	9.0

※ 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用